

## 脳の外見(形態)と中身(機能)

当院では CT と MRI/MRA の画像検査が可能です。これらは形態(=外見)を評価する検査となりますが、機能(=中身)を評価するのは核医学検査で、認知症疾患医療センター(地域型)の北見赤十字病院と連携することで受けることが可能です。認知症領域の核医学検査には脳血流 SPECT・MIBG 心筋シンチグラフィ・DAT シンチグラフィ・アミロイド PET があります。これら検査により全てが明らかにされるわけはありません。形態画像では『外見は悪くても中身が良い』場合もありますし(萎縮や虚血は強くても、機能は保たれている)、機能画像でも血流や代謝が正常に保たれているからといって、正常な精神機能を担保するものではありません。異常所見が場合によっては覆らず、パンドラの箱的要素もあります。箱を閉めたときに希望が残るかもしれないのです(≡知らぬが仏)。画像検査と比べると客観性に劣るものの、通常行われている診察や認知機能検査でも勝るとも劣らぬ情報量が得られます。医療機器や Ai に負けていられないという気持ちで自分は診療に当たっています。